

COLOR LCD MONITOR

液晶モニタ・
ユーザーズマニュアル

LCM-TP1702AD/S

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	6
ご注意	6
第 1 章 製品のご紹介	8
1 . 1 製品の概要	8
1 . 2 各部の名称と機能	11
1 . 3 取り扱いなどについて	13
第 2 章 接続について	15
2 . 1 接続について	15
2 . 2 接続後の作業	18
2 . 3 アームを取り付ける場合は	19
第 3 章 調整について	20
3 . 1 自動調整について (アナログ入力時のみ)	20
3 . 2 ワンタッチ調整	21
第 4 章 OSD メニュー	23
4 . 1 OSDメニューの起動	23
4 . 2 各項目の説明	24
4 . 3 OSDロック機能について	29
第 5 章 トラブルシューティング	31
ハードウェア仕様	33

取扱い上のご注意

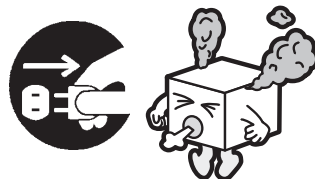


警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。

万一、異常が発生したとき。

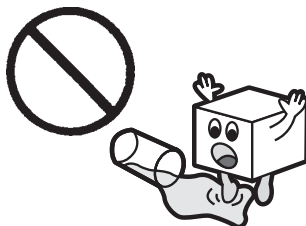
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

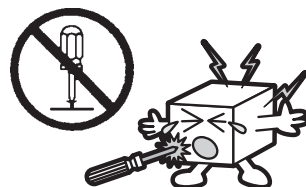
通気孔などから、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。

万一、異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。特に電源内部は高電圧が多数あり、万一、触れると危険です。



表示された電源で使用してください。

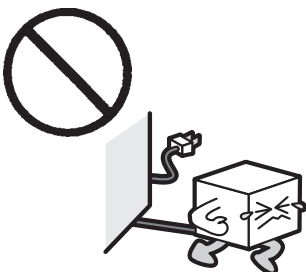
電源ケーブルは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



ケーブル類を大切に。

電源コードや各種ビデオケーブルなどは必ず本製品付属のものを使用し、以下の点に注意してください。取り扱いを誤ると、感電や火災の原因になります。

「物を載せない」「引っ張らない」「押し付けない」「折り曲げない」「加工しない」「束ねない」「熱器具のそばで使用しない」



警告

電源コンセントの扱いは慎重に。

電源コンセントは平行2極差込コンセントをご使用ください。その他のコンセントを使用すると感電や火災の原因になります。感電防止等のために、アース線を専門の電気技術者が施工したアース端子に接続してください。接続しないと電源の故障時などに感電するおそれがあります。



電源プラグの抜き差しには注意してください。

電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。無理に電源コードを引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。



休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときにも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。

電源プラグの接触不良やトラッキング。

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。

電源プラグはほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は乾いた布などで拭き取り、差し込んでください。

グラグラしないコンセントをご使用ください。



装置の上に物を置かないでください。

本製品の上に重いものや、水の入った容器類、または虫ビン、クリップなどの小さな金属類を置かないでください。故障や感電、火災の原因になります。



揮発性液体の近くの使用は避けてください。

マニキュア、ペディキュアや除光液などの揮発性液体は、装置の近くで使わないでください。装置の中に入って引火すると火災の原因になります。



警告

日本国以外では使用しないでください。

この装置は日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより、国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており、この装置は適合していません。



LCD パネルが破損した場合は

LCD パネルが破損すると、内部の液体(液晶)がもれることがあります。このような場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないように十分ご注意ください。万一、眼や口に入った場合は、速やかに水ですすぎ、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服についた場合は、アルコールなどでふき取り、石鹸で水洗いしてください。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

接続時には電源コードを抜いてください。

本製品をパソコン本体に接続するときには、パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。



接続時、感電 / 火傷等に注意してください。

- ・パソコン本体内部には感電の危険性がある部分があります。感電には十分注意してください。
- ・電源 OFF 直後のパソコン本体内部には、高温の部分（CPU など）があります。火傷しないように注意してください。
- ・パソコン本体内部の金属部分や基板の裏側に、不注意に触れるとケガをすることがありますので注意してください。



感電注意

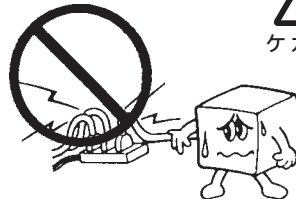


高温注意



ケガに注意

電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は、火災の原因となります。



⚠ 注意

ケーブル類は必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



ケーブルは足などをひっかけないように配線してください。足をひっかけるとけがや接続機器の故障の原因になります。

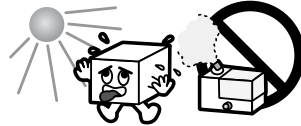
ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱気具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。



コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が厳しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



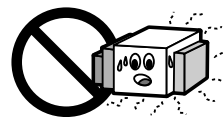
本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



浴室、洗面台、台所の流し台、洗濯機など水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



通気孔はふさがらないでください。加熱による火災、故障の原因となります。



注意

装置の梱包用ポリ袋はお子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息するおそれがあります。



LCD パネルの取り扱い

LCDパネルに圧力を加えないでください。表示異常の原因となったり、LCDパネルの破損につながります。LCDパネルの表面に硬いものをあてたり、こすったりしないでください。LCDパネルの傷や破損につながります。

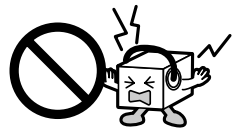


本製品が汚れた場合は

本製品が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を使用して音声を再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害を発生する場合があります。



視力の低下などを防止するため、以下の点にご注意ください。



- ・ 屋内の適度な明るさの場所でご使用ください。
- ・ 画面の明るさやコントラストは適切なレベルまで調整してください。
- ・ 自然な姿勢で正面から見られるように角度を調整してください。
- ・ 長時間使用する場合は、定期的に休憩を取って目を休めてください。
- ・ 市販のフィルタには紫外線などを防止する効果のあるものもあります。

同じ画面を長時間表示させると、画面の焼き付きを起こすことがあります。使用しない場合は電源を切り、なるべく省電力機能もしくはスクリーンセーバー機能をご使用ください。



本製品の角度調整時に、指を挟まないようご注意ください。ケガの原因となります。



ごあいさつ

この度は弊社液晶モニタをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は液晶モニタに関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社液晶モニタによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一項目に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* MS[®]-DOS、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。
Macintosh[®]、Mac[®] OSはアップルコンピュータ社の登録商標です。

VCCIに基づく表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると電波障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムに基づく表示



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



ご注意

液晶モニターは膨大な数の薄膜トランジスタ（TFT）で構成されています。画面上で少数のドットに欠落、変色、発光が見られることがありますが、これはTFT液晶技術に起因するもので、製品自体の欠陥によるものではありません。

第 1 章

製品のご紹介

1. 1 製品の概要

本製品は 1280 ドット × 1024 ラインの解像度に対応した 17 型 TFT 液晶モニターです。外形は狭額縁・薄型スリム設計で奥行きを気にせず設置できます。各社の DOS/V パソコン、アップルコンピュータ社の Macintosh シリーズなどに接続して使用することができます。

本製品の特徴

本製品前面には傷がつきにくい保護フィルタ（硬化ガラス）を取り付けてありますので、液晶パネルに直接衝撃を与えることにより起きるパネル破損などの危険性を低減させています。

色再現国際規格 sRGB にも対応していますので、sRGB 規格対応のプリンタやデジタルカメラなどの出力機器とほとんど同じ色がディスプレイ上で再現可能です。

本製品の調整は画面上にオーバーレイ表示される OSD メニュー（On Screen Display Menu）から行うことができます。本製品では OSD メニューが日本語で表示されます。また、画面調整内容を他人が勝手に変更できないよう、OSD メニューには 2 種類のロック機能が付いています。

画面の表示モードを、色合いのはっきりとしたピクチャーモードと、目の疲れを抑えるために色合いをやや暗くしたテキストモードにワンタッチで切り替えることができます。モード毎に、「コントラスト」「輝度」「R/G/B カラー調整」の設定を行うことができますので、各モードを利用目的に応じて好みの色調に調整することが可能です。

付属品の「スイーベルリング」を台座に装着することにより、左右各約 90° のスイーベル（首振り）が可能となります。

本体に電源を内蔵しているので、電源コードを接続するだけですっきりと接続できます。

アンプ付のステレオスピーカを内蔵しているのでパソコンからの音声を本製品より出力することができます。

背面に盗難防止キーの取り付けが可能なケンジントンセキュリティスロット準拠の取り付け穴を装備しています。

VESA 規格のアームを取り付けることができます。

接続可能なパソコン

本製品は以下のようなパソコンに接続して使用することができます。

各社 DOS/V パソコン
アップルコンピュータ社 Macintosh シリーズ

どのパソコンの場合も、以下の条件を満足しなければなりません。

アナログ入力でご使用の場合は、ミニ D-sub15 ピンの RGB コネクタを搭載していること。または接続アダプタ(*1)を使用して接続が可能なこと。

デジタル入力でご使用の場合は、DVI-D コネクタまたは DVD-I コネクタを搭載していること。

使用するビデオボード、ビデオドライバ、OS が次ページの表に記載されたディスプレイモードのどれかをサポートしていること。

*1 接続アダプタを使用する機種については18 ページを参照してください。



ご注意

- ・本製品はインターレースモードをサポートしていません。使用可能なディスプレイモードについては、次ページの表をご参照ください。
-

サポートされるディスプレイモード

解像度	水平周波数	垂直周波数
640 × 480	31.47KHz	59.94Hz
640 × 480	37.86KHz	72.80Hz
640 × 480	37.50KHz	75.00Hz
720 × 400	31.47KHz	70.08Hz
800 × 600	35.16KHz	56.25Hz
800 × 600	37.88KHz	60.32Hz
800 × 600	48.08KHz	72.19Hz
800 × 600	46.86KHz	75.00Hz
1024 × 768	48.36KHz	60.00Hz
1024 × 768	56.48KHz	70.07Hz
1024 × 768	58.04KHz	71.92Hz
1024 × 768	60.02KHz	75.03Hz
1280 × 1024	63.98KHz	60.02Hz
1280 × 1024	79.98KHz	75.03Hz

すべてノンインターレースモードのみ。

1.2 各部の名称と機能

本製品前面

AUTO ボタン ボタン / ボタン MENU ボタン

本製品の設定を行うOSDメニューの操作で使用します。OSDメニューについては第4章をご参照ください。

OSDメニューを起動していないときに、「MENU ボタン」を2秒以上長押しすることにより、画面の表示モードをテキストモードとピクチャーモードに切り替えることができます。（「3.2 ワンタッチ調整」参照）
また、OSDメニューを使用していないときに、「ボタン」「ボタン」を押すとコントラスト、輝度、ボリュームの調整をすることができます。（「3.2 ワンタッチ調整」参照）

電源スイッチ

本製品の電源をON / OFFします。

電源表示ランプ

本製品の電源がONになると緑色に点灯し、本製品が省電力モードになるとオレンジ色に点灯します。

本製品背面

内蔵スピーカ

本製品内蔵の2W+2W アンプ付ステレオスピーカが収納されています。付属のオーディオケーブルを使用してパソコンのスピーカ端子またはラインアウト端子と、本製品背面のオーディオイン端子を接続すると、このスピーカから音声を出力することができます。

アーム固定用ネジ穴

VESA規格のアーム（ピッチ100mm）を取り付けることができます。M4、深さ10mmのネジをご使用ください。

アナログ入力コネクタ

付属のビデオケーブル（アナログ）を使用してパソコン本体（ビデオボード）のRGBコネクタと接続します。

デジタル入力コネクタ

付属のビデオケーブル（デジタル）を使用してパソコン本体（ビデオボード）のDVIコネクタと接続します。

オーディオイン端子

本製品内蔵スピーカから音声を出力する場合に、付属のオーディオケーブルを使用してパソコンのラインアウト端子と接続します。

電源コネクタ

付属の電源コードを接続します。

盗難防止キー取付け穴（ケンジントンセキュリティスロット準拠）

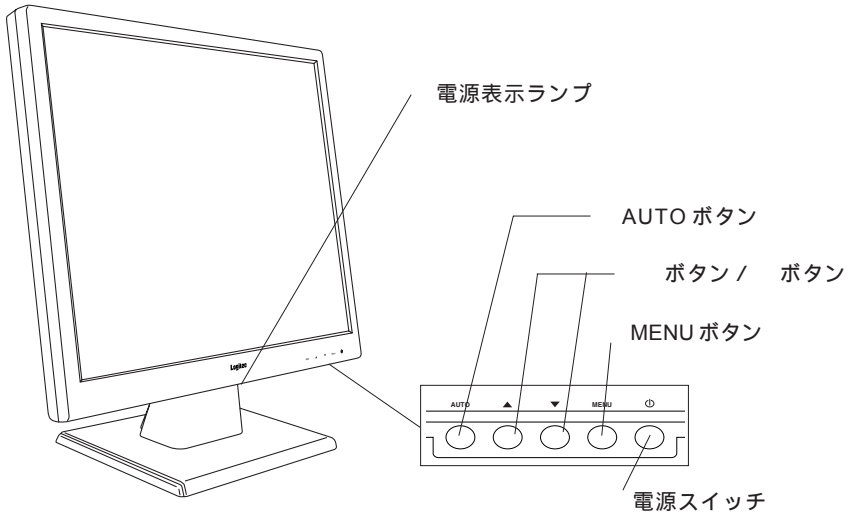
盗難防止のためにカギつきのワイヤを取り付けることができます。

ケーブルフック

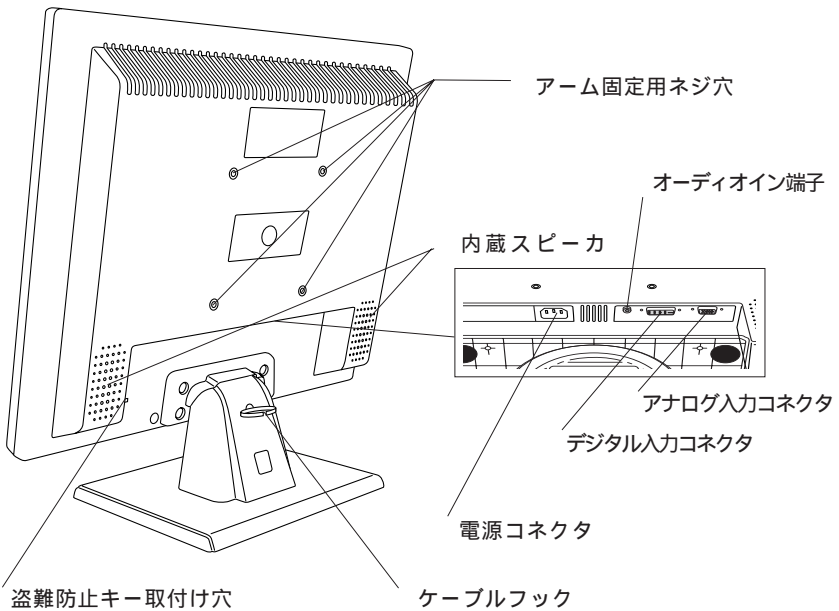
オーディオ・ビデオ・電源の各ケーブルを束ねることができます。

各コネクタへの接続は余裕を持たせてください。引っ張られている状態での設置は故障の原因となります。

本製品前面



本製品背面



1.3 取り扱いなどについて

本製品の設置について

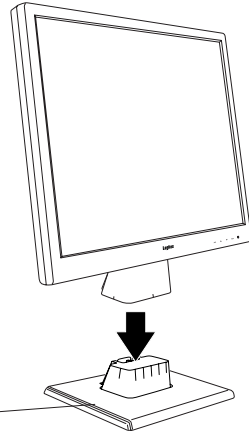
本製品設置の際は、付属のTFTモニタ設置用台座に取り付けてください。

水平な机の上などに台座を置き、台座のくぼみに本体スタンド部をあわせ、「カチッ」と音がするまではめ込んでください。

⚠ 台座と本体スタンド部が確実に取り付けられていないと、本体が外れる恐れがあります。

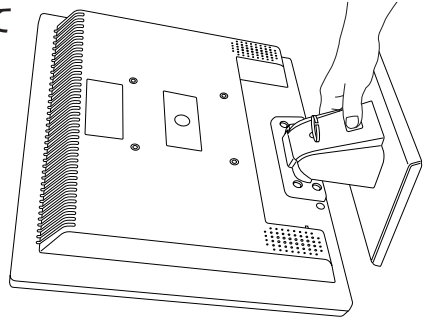
⚠ 台座を取り付ける際、指などを挟まないように注意してください。

本製品付属の設置用台座



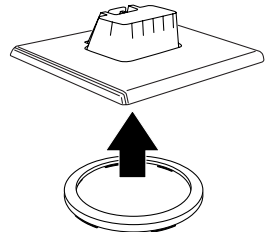
台座の取り外しについて

台座を取り外す際は、液晶面が下になる方向で安定した場所に置き、本体スタンド背面のツメを押して、そのまま台座を取り外してください。



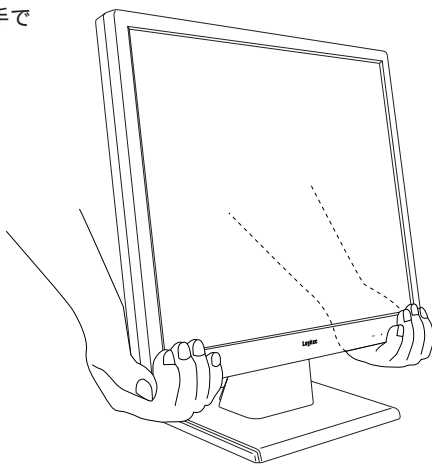
スィーベルリングの装着について

本製品は、スィーベルリングを台座に装着することにより、スィーベル（首振り）機能（左右約90°）がご使用いただけます。必要に応じ、台座の裏（底面）にスィーベルリングを装着し、ご使用ください。スィーベルリングは、台座とスィーベルリングの『F』のマークを合わせて装着ください。一度装着したら取外さないようにしてください。破損の原因となります。



本製品を持ち運ぶ場合は...

本製品を持ち運ぶ場合は、必ず両手で
右図の位置を持ってください。



第2章 接続について

2.1 接続について

本製品の接続は以下の手順で行います。接続の前にパソコン本体および、そこに接続された全ての機器の電源を OFF にしておいてください。

本製品背面に電源コードを接続します。

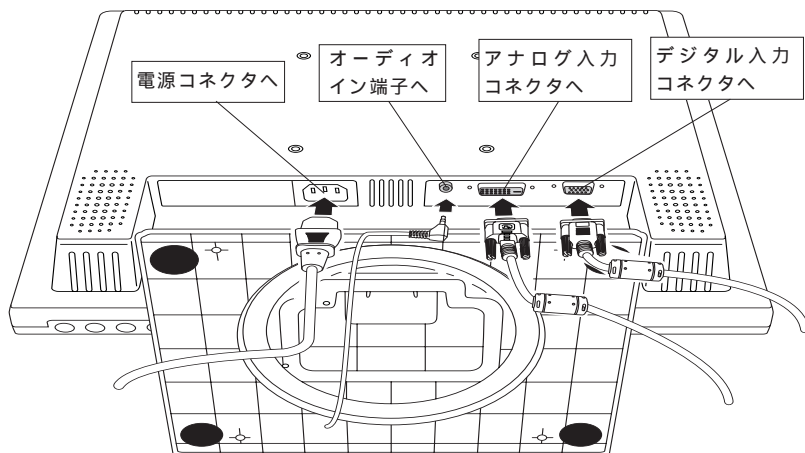
本製品の電源コネクタに本製品付属の電源コードで接続します。(下図参照)

アナログ信号ケーブル、デジタル信号ケーブル、オーディオケーブルを接続します。

付属の信号ケーブルを本製品の入力コネクタに接続します。また、本製品内蔵スピーカーから音声を出力したい場合、付属のオーディオケーブルを本製品背面のオーディオイン端子に接続します。(下図参照)

ケーブルがつかばらないようにケーブルに余裕を持たせ、ケーブルフックをご利用ください。

接続に使用しないケーブルは大切に保管しておいてください。



本製品背面

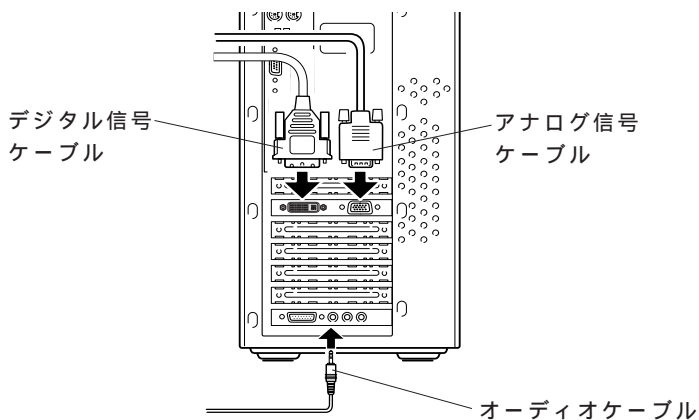
Point ポイント

- ・電源コードとオーディオケーブルを本製品に接続する際は、安定した場所で柔らかい布などの上に、本製品を液晶面が下になる方向で寝かせると便利です。この際、液晶面に傷がつかないようにご注意ください。

ビデオケーブルとオーディオケーブルを接続します。

手順 で取付けた信号ケーブルをパソコン本体（ビデオボード）のRGBコネクタまたはDVIコネクタに接続します。アダプタが必要なパソコンをお使いの場合はビデオケーブルの先に接続アダプタを接続してください。（次ページ参照）

次に、手順 で取り付けたオーディオケーブルをパソコンのスピーカ端子またはラインアウト端子へ取り付けます。



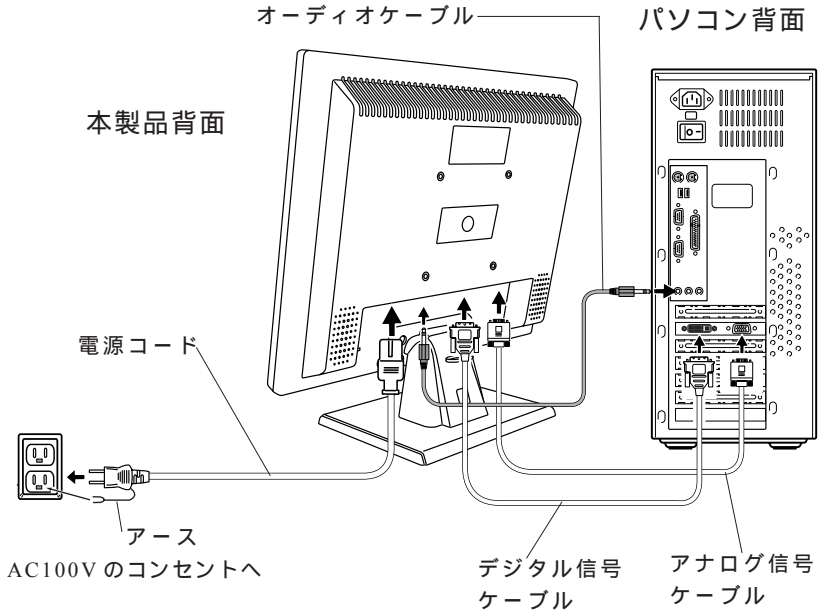
参考

デジタル信号ケーブルとアナログ信号ケーブルを別々のパソコンに接続すると、2台のパソコンを1つのディスプレイで切り替えて使用することができます。

本製品の電源コードを AC100V のコンセントに接続します。

この際、必ずアースを取るようにはしてください。

以上で接続は終了です。全体の接続図は以下のようになります。



ご注意

- ・接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続されたすべての周辺機器の電源を OFF にして、パソコン本体の電源コードをコンセントから外してください。
- ・本製品の接続は安定した場所で、片方の手で本製品をしっかり支えて、落とさないように注意して行ってください。



ご注意

- ・本製品を Macintosh シリーズの旧機種（標準 D-sub15 ピンの RGB コネクタを持つ機種）に接続する場合には、市販の Macintosh 用接続アダプタをご使用ください。
-

2 . 2 接続後の作業

2

本製品は、モニター プラグ & プレイ機能（VESA™ DDC™ 1/2B 規格対応）を搭載しているためこの機能に対応しているパソコンに接続すると、モニター情報が自動的に認識されます。初めてモニターとコンピュータを接続して起動したときに設定用のウィザードが表示された場合は、手順にしたがって「次へ」をクリックしていくとプラグ & プレイ モニタとして自動認識され使用可能になります。



重要なご注意

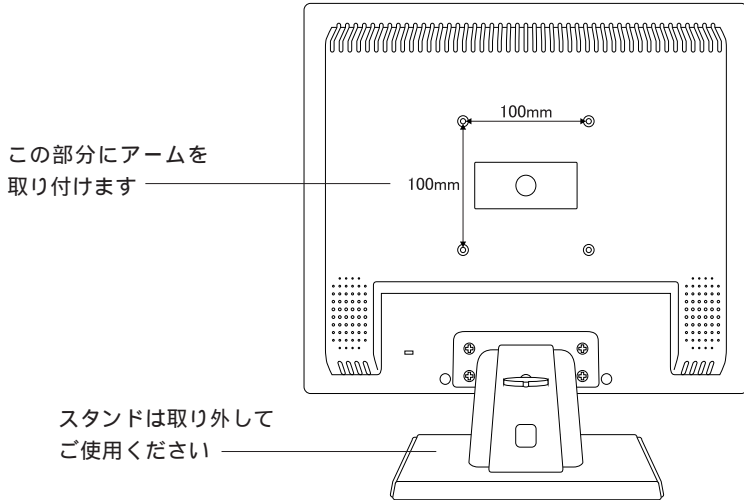
本製品をデジタル信号ケーブル（DVI ケーブル）でパソコン本体に接続しているときは、絶対に電源が入っている状態でケーブルの抜き差しを行わないでください。VGA カードやモニターが破損する恐れがあります。

2.3 アームを取り付ける場合は

本製品はVESA規格のアームを取り付けることができます。アームを使用する場合は、背面の穴にアームを取り付けてください。本製品はピッチが100mmのものに対応しています。取り付けの際は、本製品からスタンドを外してご使用ください。

M4、深さ10mmのネジをご使用ください。

アームの取り付け方法についてはアームの取扱説明書をご参照ください。

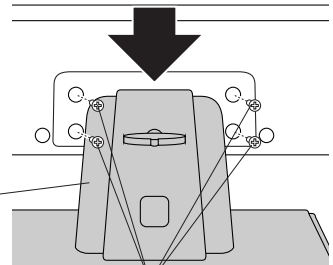


スタンドの外し方

スタンドを支えている部分のネジ4箇所を外し、下方向にスライドさせて取り外します。

2. スタンドを外します

1. ネジを外します

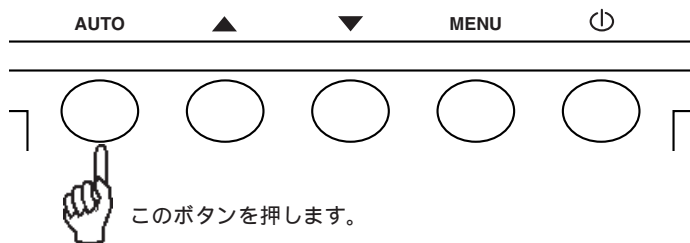


第3章 調整について

3.1 自動調整について（アナログ入力時のみ）

本製品をアナログ入力で出荷時の状態で使用すると、まれに画面に縦縞が見えたり、画面がちらついて見える場合があります。これはパソコン本体から出力されるアナログRGB信号と本製品のタイミングが合っていない場合に起こります。

そのような場合「AUTOボタン」を押すと周波数と画面の位置の自動調整が行われます。通常は自動調整を行えば画面の調整を終了することができます。



細かな設定を行う場合や調整がうまく行かない場合にはOSDメニューから表示される各項目の設定を行ってください。OSDメニューについては第4章をご参照ください。



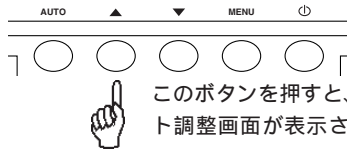
ご注意

- 調整を行う場合は、本製品の電源をONにした後、機器が安定するまで15分ほどお待ちください。
- 自動調整で画面に縦縞や横縞があり、それをOSDメニューから手動で修正した場合、再度自動調整機能を使用すると、画面が縦縞や横縞があった状態に戻ってしまいますのでご注意ください。

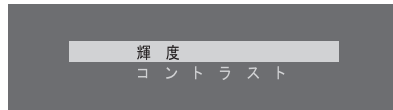
3.2 ワンタッチ調整

本製品はワンタッチで「輝度」「コントラスト」「ボリューム」の調整を行うことができます。

輝度 / コントラスト調整



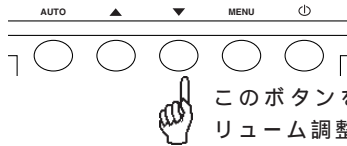
このボタンを押すと、以下のような輝度 / コントラスト調整画面が表示されます。



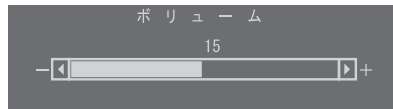
「ボタン」「ボタン」を使用して、「輝度」「コントラスト」を選択し「AUTO ボタン」を押します。

各調整画面に切り替わりますので、「ボタン」「ボタン」を使用して、値を調整します。「MENU ボタン」を2回押すと、調整画面の表示を消すことができます。

ボリューム調整



このボタンを押すと、以下のようなボリューム調整画面が表示されます。

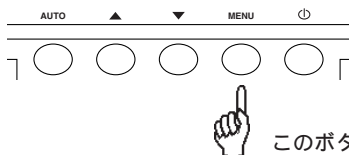


「ボタン」「ボタン」で音量を調整します。「AUTO ボタン」か「MENU ボタン」を押すと、調整画面の表示を消すことができます。

画面モードの切り替えについて

本製品は、画面の表示モードを、色合いのはっきりとしたピクチャーモードと、消費電力を抑え、目の疲れを軽減するために色合いをやや暗くしたテキストモードにワンタッチで切り替えることができます。切り替えを行いたいときは、OSDメニューが起動していない状態で、「MENUボタン」を2秒長押ししてください。

各モードの輝度、コントラスト、色調整項目はそれぞれ保持されます。



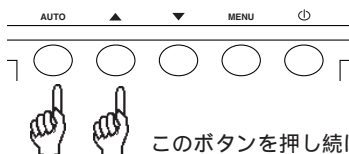
このボタンを押し続けます。

ピクチャーモード：色の再現性が高く、フォトレタッチなどの用途に向きます。

テキストモード：消費電力を抑え、目の疲れを軽減するために色合いをやや暗くします。

入力モード切り替えについて

本製品はアナログ入力、デジタル入力の両方に対応しています。表示を切り替えたいときは、OSDメニューが起動していない状態で「AUTOボタン」と「MENUボタン」を同時に2秒長押ししてください。



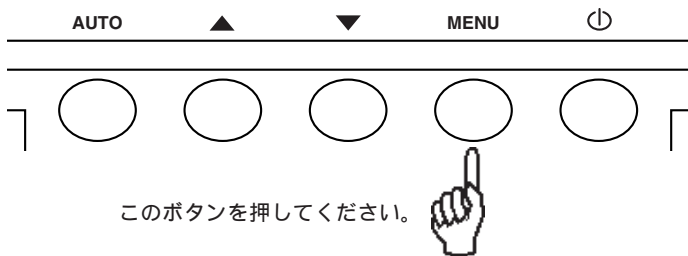
このボタンを押し続けます。

第4章

OSDメニュー

4.1 OSDメニューの起動

本製品の設定を手動で行いたい場合は、画面にオーバーレイ表示されるOSD（On Screen Display）メニューから行います。OSDメニューを表示したいときには、本製品の「MENUボタン」を押してください。



このボタンを押してください。

以下のようなウィンドウが表示されます。これがOSDメニュー（メインメニュー）です。



OSDメニュー

水色に反転している項目が現在選択されている項目です。

ボタン操作は以下の通りです。

「MENUボタン」:

OSDメニューの表示/非表示を切り替えます。また、各項目を選択している時は、選択を解除して一つ前のメニューに戻ります。

「上ボタン」「下ボタン」:

メニュー内の項目間を移動します。また、各項目を選択している時は、選択された項目の値を変更します。

「AUTOボタン」: 項目の選択を行い、詳細調整モードへ移行します。

4.2 各項目の説明

OSD メニューからは以下の各調整が可能です。

項目	設定値	備考
輝度	0 ~ 100	画面の明るさを調整します。
コントラスト	0 ~ 100	画面のコントラストを調整します。
AUTO		画面の位置、ビデオ信号を自動的に調整します。 アナログ信号表示 の場合のみ
H ポジション	0 ~ 100	画面の水平位置を調整します。 アナログ信号表示 の場合のみ
V ポジション	0 ~ 68	画面の垂直位置を調整します。 アナログ信号表示 の場合のみ
クロック	0 ~ 100	ビデオ信号のサンプリングタイムを調整します。 アナログ信号表示 の場合のみ
フェーズ	0 ~ 63	ビデオ信号のサンプリング周波数を調整します。 アナログ信号表示 の場合のみ
シャープネス	0 ~ 4	画面の鮮明さを調整します。
色温度	9300/7500/sRGB/USER	色温度およびカスタムでの カラーバランスを調整します。
OSD H ポジション	0 ~ 200	OSD メニュー表示の水平位置を調整します。
OSD V ポジション	0 ~ 200	OSD メニュー表示の垂直位置を調整します。
ボリューム	0 ~ 30	音量を調整します。
ミュート	ON/OFF	ミュートの ON / OFF を選択します。
DDC/CI	ON/OFF	DDC/CI の設定を変更します。
INPUT	VGA(アナログ) / DVI(デジタル)	アナログ / デジタル の入力モードを 切り替えます。
リセット		現在選択している入力モードと画面モードの リセットを行います。
オールリセット		選択していない全てのモードのリセットを 行います。



ご注意

より精度の高い調整を行う場合は、電源を ON にした後、機器が安定するまで 15 分ほどお待ちになってから調整してください。



OSD メニューを表示した状態で、一定時間何も操作を行わないと OSD メニューが自動的に終了し、設定内容が保存されます。

輝度

輝度 が選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと赤文字に変わります。画面の明るさを調整する場合は、ここで、「 ボタン」「 ボタン」を使用して調整してください。

調整後、「MENU ボタン」を押すと設定が保存されます。

コントラスト

コントラスト が選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと赤文字に変わります。画面のコントラスト（明暗の差）を調整する場合は、ここで、「 ボタン」「 ボタン」を使用して調整してください。

調整後、「MENU ボタン」を押すと設定が保存されます。

AUTO（アナログ入力時のみ）

AUTO が選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと、画面の位置、入力信号の自動調整が実行されます。

自動調整後は、OSD メニューが終了します。

H ポジション（アナログ入力時のみ）

H ポジション が選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと赤文字に変わります。画面の水平位置を調整する場合は、ここで、「 ボタン」「 ボタン」を使用して調整してください。

調整後、「MENU ボタン」を押すと設定が保存されます。

V ポジション（アナログ入力時のみ）

V ポジション が選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと赤文字に変わります。画面の垂直位置を調整する場合は、ここで、「 ボタン」「 ボタン」を使用して調整してください。

調整後、「MENU ボタン」を押すと設定が保存されます。

クロック（アナログ入力時のみ）

クロック が選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと赤文字に変わります。ビデオ信号のサンプリングタイムを調整する場合は、ここで、「 ボタン」「 ボタン」を使用して調整してください。

調整後、「MENU ボタン」を押すと設定が保存されます。クロックは画面に縦縞が出るときに調整します。

フェーズ（アナログ入力時のみ）

フェーズが選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと赤字に変わります。ビデオ信号のサンプリング周波数を調整する場合は、ここで、「 ボタン」「 ボタン」を使用して調整してください。

調整後、「MENU ボタン」を押すと設定が保存されます。

フェーズは画面がちらつくときに調整します。

シャープネス

シャープネスが選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと赤字に変わります。画面の鮮明さを調整する場合は、ここで、「 ボタン」「 ボタン」を使用して調整してください。

調整後、「MENU ボタン」を押すと設定が保存されます。

数値を変更しても変化が大きく感じられない場合がございます。

これは製品の仕様であり、異常ではありません。

色温度

色温度が選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと赤字に変わります。表示画面の色温度を選択する場合は、「 ボタン」「 ボタン」を使用して 9300 / 7500 / sRGB / USER のいずれかを選択します。

（USER を選択する場合は、下記をご参照ください）

選択後、「MENU ボタン」を押すと設定が保存され、メインメニューに戻ります。



参考

9300K では画面の青味が強くなり、7500K では赤みが強くなります。

USER を選択する場合

上の画面で USER を選択する場合、USER を選択後に「AUTO ボタン」を押してください。以下の画面に切り替わります。

ここでは赤・緑・青の色をそれぞれ調整することができます。

「 ボタン」「 ボタン」を使用して調整してください。

選択後、「MENU ボタン」を押すと設定が保存されます。

色 温 度	
赤	50
緑	50
青	50

OSD H ポジション

OSD H ポジションが選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと赤文字に変わります。OSD メニューの水平位置を調整する場合は、ここで、「 ボタン」「 ボタン」を使用して調整してください。

調整後、「MENU ボタン」を押すと設定が保存されます。

OSD V ポジション

OSD V ポジション が選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと赤文字に変わります。OSD メニューの垂直位置を調整する場合は、ここで、「 ボタン」「 ボタン」を使用して調整してください。

調整後、「MENU ボタン」を押すと設定が保存されます。

ボリューム

ボリューム が選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと赤文字に変わります。内蔵スピーカより出力される音量を調整する場合は、ここで、「 ボタン」「 ボタン」を使用して調整してください。

調整後、「MENU ボタン」を押すと設定が保存されます。

ミュート

ミュート が選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと赤文字に変わります。内蔵スピーカより音を出したくない場合は、ここで、「 ボタン」「 ボタン」を使用して ON / OFF を選択します。

調整後、「MENU ボタン」を押すと設定が保存されます。

DDC/CI

DDC/CI が選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと赤文字に変わります。DDC/CI 機能の 有効/無効 の調整をする場合は、ここで、「 ボタン」「 ボタン」を使用して ON / OFF を選択します。

調整後、「MENU ボタン」を押すと設定が保存されます。



DDC/CI にはソフトウェアが必要となります。ご使用の環境により、ご使用いただけない場合がございます。その場合は OFF を選択してご使用ください。

INPUT

INPUT が選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと赤文字に変わります。表示させる入力信号の切り替えを行う場合は、ここで、「 ボタン」「 ボタン」を使用してVGA（アナログ）/DM（デジタル）を選択します。選択した時点で表示が切り替わります。

リセット

現在選択している入力モードと画面モードのリセットを行う場合は、リセットが選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと実行します。

オールリセット

選択していない全てのモードのリセットを行う（出荷状態に戻す）場合は、オールリセット が選択されている状態で「AUTO ボタン」を押すと実行します。

4 . 3 OSD ロック機能について

本製品には、設定した画面調整内容を他人が勝手に変更できないよう、設定情報（メモリー）やOSDのメニューにロックをかけておくことができます。

メモリーロック機能

メモリーロック機能は、設定した画面の調整内容を保存し、ロックをかける機能です。電源をオンにすると必ず設定した画面で立ち上がるようになります。従って、電源がオンの間に設定が変更されても、その設定は電源をオフにするとクリアされてしまいます。

メモリーロックのかけ方

パソコンと一緒に液晶モニタの電源をオンにします。

（注：すでにパソコンを立ち上げている場合は、この作業は不要です）

パソコンの画面が表示されたら、OSDメニューで設定値を調整します。

設定が終了したら、一旦、液晶モニタの電源をオフにします。

数秒待って液晶モニタの「ボタン」を押しながら電源をオンにします。

これで変更した設定が保存されます。

メモリーロックの解除

一度電源をオフにし、「ボタン」を押しながら電源をオンにします。

これでメモリーロックは解除されます。必要に応じて再設定を行ってください。



ご注意

OSD ロック機能を設定している状態では、リセットは機能しません。

OSD メニューロック

音量以外の OSD メニュー操作を制限することができます。

OSD メニューロックのかけ方

パソコンと一緒に液晶モニタの電源をオンにします。

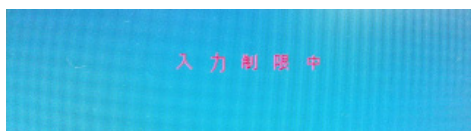
(注：すでにパソコンを立ち上げている場合は、この作業は不要です)

パソコンの画面が表示されたら、OSD メニューで設定値を調整します。

設定が終了したら、一旦、液晶モニタの電源をオフにします。

数秒待ってから「ボタン」を押しながら電源をオンにします。

これで「MENU」ボタンを押しても OSD メニューは表示されず「入力制限中」と表示されます。



音量について

「ボタン」を押してから「ボタン」を操作することで音量調整ができます。

OSD メニューロックの解除

一度電源をオフにし、「ボタン」を押しながら電源をオンにします。

これで OSD メニューロックは解除されます。

本製品の電源がONにならない。

- ・ 電源コードの接続、コンセントの状態を確認してみてください。

画面に「NO CABLE」と表示され、

電源表示ランプがオレンジ色に点灯したままになる。

- ・ 信号ケーブルの接続状態を確認してみてください。
- ・ パソコンがスリープ状態になっていないかどうかを確認してください。
- ・ ディスプレイ切替機、分配器を利用している場合、パソコンへ直接接続して正常に動作するかご確認ください。

画面に「OUT OF RANGE」という文字が表示される。

- ・ 本製品のサポートしていない解像度の信号をパソコンが出力しています。本製品の対応解像度へパソコンの画面のプロパティを設定してください。
- ・ OSDメニューでモード情報をONに設定している場合、起動時にモード情報が表示されます。これは、「MENU」ボタンを押すことで消すことができます。

画面が上下左右に偏って表示される。画面に縦縞が見える。画面にちらつきがある。

- ・ 自動調整を行ってください。
- ・ もし、自動調整を行っても症状が改善されない場合は、OSDメニューから手動設定を行ってください。画面の偏りは「H.ポジション」「V. ポジション」で調整します。縦縞と画面のちらつきは「クロック」「フェーズ」で調整します。

Windows , Mac OSなどでリフレッシュレートを変更したら画面が異常になった。

- ・ そのリフレッシュレート（水平 / 垂直周波数）は本製品のサポートしている物でない可能性があります。何もしないでしばらく待っていると元の状態に戻るの、異なるリフレッシュレートを試してみてください。

OSDメニューからリセットを実行しても何も起こらない

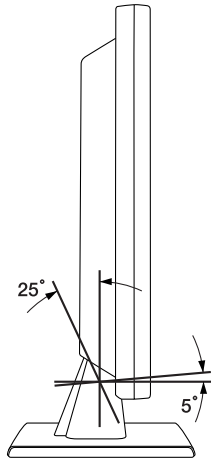
- ・ ご使用のパソコン側の周波数、解像度に関する設定が本製品のサポートするディスプレイモードとあっていない場合、この現象がおこる場合があります。パソコンの設定をご確認ください。

ハードウェア仕様

製品型番	LCM-TP1702AD/S		
画面サイズ	17型		
最適解像度	1280ドット×1024ライン		
ドットピッチ	0.264mm		
表示色	1677万色(擬似フルカラー、Hi-FRC)※		
視野角 (CR≥10)	左85° 右85° 上80° 下80°		
輝度	250cd/m ²		
コントラスト比	1000:1		
応答速度	5ms		
入力端子	DVI-D 24ピン ×1 ミニD-Sub 15ピン ×1 ステレオミニジャック ×1		
同期周波数	水平	31.5KHz～80KHz	
	垂直	56Hz～76Hz	
入力信号	ビデオ信号	R, G, Bデジタル、R, G, Bアナログ	
環境条件	動作時	温度	10°C～35°C
		相対湿度	20%～80%(ただし、結露無きこと)
	保管時	温度	-20°C～50°C
		相対湿度	10%～85%(ただし、結露無きこと)
入力電源	AC100V±10% 50/60Hz		
消費電力	最大	25W	
	省電力モード	1W以下	
スピーカ出力	ステレオ(2W+2W)		
スタンドの傾斜角度	上25°/下5°		
保護 フィルタ	厚さ	2mm	
	反射防止処理	両面ARコート	
	可視光線透過率	94%以上	
	外光反射率	6%以下	
	表面硬度	9H	
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	372.8×375.3×168.3(スタンドを含む)		
質量	約4.5kg(スタンドを含む)		

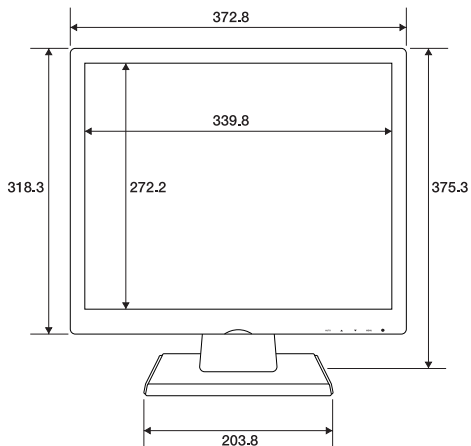
126万色を表示できるLCDパネルを採用していますが、異なる色を高速に表示させることによる残像効果により、フルカラーと同等の1677万色を表現できます。

付属スタンドの傾斜角度

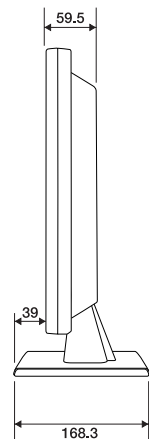


垂直方向から
前方に 5°
後方に 25° 以内

各部の詳細サイズ



単位 mm



Memo

Memo

テクニカルサポート

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行っておりません。

This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポート URL : 6409.jp (http: は必要ありません)

サポート TEL : 0570 - 022 - 022 (ナビダイヤル)

「050」から始まる IP 電話、PHS からはご利用になれません。

受付時間 : 10:00 ~ 19:00

営業日 : 月~土(祝日営業)

夏期、年末年始、特定休業日を除く

液晶モニタの廃棄について

資源有効利用促進法にもとづき、リサイクルを行っています。以下よりお申し込みください。

http://www.logitec.co.jp/eco/recycle_ho.html

個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録・修理依頼・製品に関するお問い合わせなどご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的の為に関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は細心の注意を払って管理いたしますのでご安心ください。

サポート/修理受付窓口のご案内

製品保証は、日本国内においてのみ有効です。国外からの修理依頼は、保証期間の有無を問わず対応いたしません。

This warranty is valid only in Japan.

修理終息製品の検索、依頼の手順、修理依頼書（PDF ファイル）をインターネットへ掲載しております。ご利用が可能であればご確認をお願いします。

<http://www.logitec.co.jp/support/service.html>

修理ご依頼時の確認事項

- ・修理期間中の貸出機、代替機はありません。
- ・保証期間の有無にかかわらずご送付頂く際の送料はお客様負担となります。
- ・輸送中の紛失、破損に関して弊社では責任を負いかねます。梱包材を用いて梱包し、必ず発送の控えが残る宅配便にてご送付いただき、依頼品がお手元に戻るまで発送の控えは大切に保管してください。
- ・保証期間内の修理を依頼される場合は、ご購入年月日の確認できる販売店印のある保証書、保証書シール、レシートを添付してください。
- ・依頼品には、お客様の氏名、連絡先（ご住所/電話番号）、故障の状態を書面にて添付してください。
- ・保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。
- ・保証期間終了後の修理につきましては、有料となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼先

〒396-0111 長野県伊那市美すず六道原 8268-1000 3 番窓口

エレコムグループ修理センター

TEL : 0265-74-1423

FAX : 0265-74-1403

受付時間 : 月～金 9:00～12:00、13:00～17:00

祝日、夏期、年末年始、特定休業日を除く

製品に関する技術的なお問合せや修理が必要かどうかについてのお問合せは、テクニカルサポートへお願いします。

Logitec
<http://www.logitec.co.jp/>